

札幌優翔館病院 広報誌

翔風

～ はやて ～

第5号



北海道大学・いちろう並木

Contents

連載

こんにちは！札幌優翔館病院(さっぽろゆうしょうかんびょういん)です！ ～ 第5回 ～

一言だより

秋の夜空と宇宙ステーション

コラム

医長のコラム



さっぽろ ゆうしょうかん びょういん

こんにちは！ 札幌優翔館病院です！

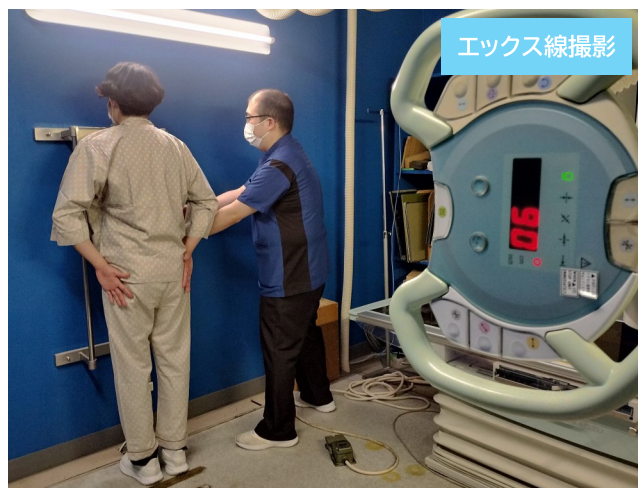
～ 放射線科・栄養科 編 ～

札幌優翔館病院は、高齢者の患者様を中心に救急医療と外科的および内科的治療、透析、リハビリテーションを行う、急性期から回復期そして在宅まで一貫した医療を提供しております。連載第5回目は、放射線科と栄養科をご紹介します。

放 射 線 科

放 射 線 検 査 と は ？

原爆や原子力発電所事故などで、放射線は危険で体に良くないものと思われていますが、現在の医療において、体内の状態や異常を確認するためには、必要不可欠な検査です。当院で使用しているエックス線は、目的に適応した適正な線量になるよう専門的知識を持った放射線技師3名が日常点検を行い、制御管理しています。被ばく線量は、体への影響が殆どないレベルとなっていますので安心して検査を受けてください。



主 な 業 務 内 容

CT 装 置

最新鋭の64列CTを導入。短い検査時間で高画質の断面画像(輪切り画像)を得ることができます。当院では、より体の状態が診断しやすいように検査後すぐに正面及び側面から見た断面や3次元画像を作成しております。また、患者さんの体験に合わせて、随時適正な線量に調整する機能を採用して被ばく低減に努めています。



移動用エックス線撮影装置

病棟や手術室、緊急時には、検査室や外来でも撮影をすることができます。



骨塩定量装置

骨を構成しているカルシウムなどのミネラル成分の量を測定します。少ないエックス線量で前腕部を撮影し、同年齢の標準的数値と比較して今の骨の状況がすぐにわかります。



透 視 装 置

健診時のバリウム検査は、この装置で行います。透視装置では、リアルタイムに透視画像で状況が確認できることから、難しい処置や内視鏡検査の際に、活用しています。



妊娠中の放射線検査について

妊娠中の方や可能性のある方は、診察や検査などを受ける前に必ずご相談ください。

管 理 栄 養 士 と は ？

管理栄養士とは、患者様の食事の栄養バランスを管理する専門職です。患者様の栄養状態に応じ、食事内容の変更や栄養指導を行う栄養管理担当と、献立作成・発注・配膳を管理する厨房担当に分かれており、当院では管理栄養士2名が在籍し、厨房業務は(株)日総様に委託しております。365日入院患者様の食事を調理し、平日は職員食と合わせて一度に約100人分を作ります。季節に合わせた行事食も提供します。



主 な 業 務 内 容

栄 養 管 理

入院時にスクリーニングして、低栄養と判断された患者様の栄養管理計画書を作成します。
状態により定期的に再スクリーニングし経過を確認します。

栄 養 指 導 ・ 情 報 連 携

主治医の指示のもと入院・外来患者様の栄養指導を1回30分行っていきます。退院先の病院や施設に当院の食事内容を提供する栄養情報連携も行っています。



厨 房 の 様 子



食 事 形 態 の 選 択

栄養科とリハビリ科が同室にあり、主に言語聴覚士(ST)さんと連携を取り病棟へ情報提供することで、入院患者様に合った食事形態の選択を行っています。



入 院 時 の お 食 事 に つ い て

基本的には一般食ですが、病態や飲み込みの状況により治療食へ変更となる場合があります。患者様それぞれの状態に合わせて食べやすい形態でお作り致します。

常菜/軟菜



刻み (1.5cm)



軟菜刻み(あんかけ)



ペースト



刻み② (2~3mm)



見て楽しい
食べて美味しい

四 季 折 々 の 行 事 食



ひなまつり



クリスマス



一言だよ!

【秋の夜空と宇宙ステーション】

秋といえばお月見・十五夜の季節です!

十五夜とは、1年で最も美しいとされている「中秋の名月」を鑑賞しながら
収穫などに感謝をする行事となっております。

秋は空気が乾燥していて月がきれいに見られる季節なので、
晴れている日の帰り道は少し夜空を見上げてみてはいかがでしょうか。

皆さんはISS(国際宇宙ステーション)「きぼう」をご存じですか?

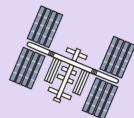
ISSとは地上から約400Km上空に浮かぶ巨大な実験施設です。

なんと1日に地球を約16周しています!

そんなISSが肉眼でも見られることはあまり知られていませんが、
実は1年中ほぼ毎日のように札幌の住宅街でも見ることができます。

晴れた夜空で時間帯が合えば、一番星より明るいISSが西から東へ
移動していく様子が数分間だけ観測できます。

お月見や秋の夜空を楽しんでいると運が良ければISSも観測できるかもしれません。



医長のコラム

誤嚥性肺炎とは ～予防、治療と介護～

プロフィール

外科医 小出 真二

出身地 札幌市

2025年4月1日より札幌優翔館病院 医長就任

入院が必要になる病気の中で、特に高齢になると多い病気に誤嚥性肺炎があります。

誤嚥性肺炎とは、食事時の誤嚥(飲食物や唾液、逆流した胃液が気管に入ってしまうこと)によって生じる肺炎のことで、誤嚥したものと一緒に細菌が肺に入って炎症が起き発症します。高齢の肺炎患者さんのうち7割以上が誤嚥による誤嚥性肺炎とされています。抗菌薬は細菌に対しては効果があり炎症を軽減することができますが、誤嚥を防ぐ効果はなく、治療後にも再発する可能性があります。

その予防は実際には難しいのですが、日々の口腔ケアによって口の中を常に清潔に保つことや、十分な水分・栄養摂取が求められます。また肺炎球菌ワクチンの接種も肺炎の予防に有効とされています。誤嚥性肺炎を繰り返す場合には命に関わることもあり、慎重な対応が必要になります。

高齢者といっても、それぞれの病状や生活背景は異なりますので、当院では主治医、看護師、相談員のほか言語聴覚士をはじめとした専門スタッフが日々丁寧な診療を心がけています。

発行元 翔嶺館グループ



医療法人社団 翔嶺館

札幌優翔館病院

〒002-8042

札幌市北区東茨戸2条2丁目8番25号

TEL. 011-772-9211

FAX. 011-772-9213

